

年間授業計画 様式例

高等学校 令和8年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 歴史総合

教 科： 地理歴史 科 目： 歴史総合 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1～3 組：古川）（4～8 組：中島）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 明解歴史総合 帝国書院 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察した

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養

科目 歴史総合 の目標： 近現代史について、世界と日本を広く相互的な視野から捉える。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる	近現代の歴史の変化についての意味や意義、特色を、時代やその推移、比較、相互関連、現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用し、多面的多角的に考察したり、歴史の中の諸問題を把握し、解決を視野に入れて構想した	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にいれ、諸問題を主体的に追究、解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 江戸時代の日本と欧米の近代化 【知識及び技能】江戸時代の日本と欧米の近代化についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】江戸時代の日本と欧米の近代化についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明論議している。 【学びに向かう力、人間性等】江戸時代の日本と欧米の近代化について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・アジアの中の江戸幕府 ・成熟する江戸幕府 ・清の繁栄 ・アジアアフリカに向かうヨーロッパ ・イギリス革命とアメリカ独立 ・フランス革命とその影響 ・産業革命とその影響 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】江戸時代の日本と欧米の近代化についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】江戸時代の日本と欧米の近代化についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	B 単元 アジア諸国の動揺と近代化が進む日本 【知識及び技能】アジア諸国の動揺と近代化が進む日本についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】アジア諸国の動揺と近代化が進む日本についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明論議している。 【学びに向かう力、人間性等】アジア諸国の動揺と近代化が進む日本について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・帝国主義と世界の一体化 ・アジアの植民地化 ・アヘン戦争と黒船来航 ・江戸幕府の滅亡 ・新政府と近代国家を目指す日本 ・日清戦争と日露戦争とその影響 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】アジア諸国の動揺と近代化が進む日本についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】アジア諸国の動揺と近代化が進む日本についての背景、原因など論理的に考察する力、事	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	A 単元 国際秩序の変化と第一次世界大戦 【知識及び技能】国際秩序の変化と第一次世界大戦についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】国際秩序の変化と第一次世界大戦についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明論議している。 【学びに向かう力、人間性等】国際秩序の変化と第一次世界大戦について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・ドイツとバルカン半島の緊張 ・総力戦となった第一次大戦 ・ロシア革命 ・ヴェルサイユ体制の成立 ・民族自決の影響 ・ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ・日本における大衆社会の形成 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】国際秩序の変化と第一次世界大戦についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】国際秩序の変化と第一次世界大戦についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	B 単元 日本と第二次世界大戦 【知識及び技能】日本と第二次世界大戦についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】日本と第二次世界大戦についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明論議している。 【学びに向かう力、人間性等】日本と第二次世界大戦について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・世界恐慌 ・ファシズムの台頭 ・政党政治と満州事変 ・日中戦争 ・第二次大戦 ・大戦による被害の拡大 ・大戦の結果 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】日本と第二次世界大戦についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】日本と第二次世界大戦についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	A 単元 第二次世界大戦後の日本と世界 【知識及び技能】第二次世界大戦後の日本と世界についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】第二次世界大戦後の日本と世界についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明論議している。 【学びに向かう力、人間性等】第二次世界大戦後の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・米ソの緊張と緩和 ・冷戦下の日本 ・第三勢力の形成と脱植民地化 ・中東戦争とバレスチナ問題 ・ゆらぐアメリカと先進各国の変化 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】第二次世界大戦後の日本と世界についての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】第二次世界大戦後の日本と世界についての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較	○	○	○	7
	B 単元 グローバル化と私たち 【知識及び技能】グローバル化と私たちについての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめる技能を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】グローバル化と私たちについての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識し、考察する力、他時代地域と比較など多面的に考察し説明論議している。 【学びに向かう力、人間性等】グローバル化と私たちについて、よりよい社会の実現を視野に入れて、諸問題を主体的に追究解決しようとしている。	・経済大国日本 ・経済発展にむかうアジア南米 ・イスラム復興と冷戦への影響 ・冷戦の終結 ・グローバル化の影響 ・明解歴史総合 帝国書院	【知識・技能】グローバル化と私たちについての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切に調べまとめることができる。 【思考・判断・表現】グローバル化と私たちについての背景、原因など論理的に考察する力、事象の本質を認識	○	○	○	7
	定期考査			○	○	○	1
							合計 70

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	■近代国家の展開 【知識・技能】この時期の戦争の背景、日本の国際的地位の変化や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、国内で社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解する。【思考・判断・表現】戦争が国民としての自覚をもたらし、アジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのか、国際的な民族運動の高揚について多面的、多角的に考察する。【主体的に学習に取り組む態度】対外的な戦争が日本の近代化の中で果たしていた意味、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究する。	◆日清・日露戦争と国際関係（条約改正、朝鮮問題、日清戦争と三国干渉、立憲政友会の成立、列強の中国進出と日英同盟、日露戦争、韓国併合、満洲への進出、桂園時代）◆第一次世界大戦と日本（大正政変、第一次世界大戦、日本の中国進出、政党内閣の成立）◆ワシントン会議（パリ講和会議とその影響、ワシントン会議と協調外交、社会運動の勃興、護憲運動と護憲三派内閣の成立）	【知識・技能】この時期の戦争の背景、日本の国際的地位の変化や対外政策の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、国内で社会運動が起こった背景と政党政治の成立について理解している。【思考・判断・表現】戦争が国民としての自覚をもたらし、アジア近隣諸国民が日本の対外姿勢をどのように受け止めたのか、国際的な民族運動の高揚について多面的、多角的に考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】対外的な戦争が日本の近代化の過程の中でもつた意味、当時の日本外交に与えた影響やその課題を主体的に追究しようとしている。		○	○	12	
	定期考査			○	○	○	1	
	■近代産業と生活 【知識・技能】産業の発達の影響、国家主義的思想、教育の普及・拡充、学問・芸術・出版、マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、社会風潮との関連を理解する。【思考・判断・表現】労働問題や公害問題の発生、都市の発達、鉄道・駅の設置、工場での増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的、多角的に考察する。【主体的に学習に取り組む態度】産業の発展による社会問題への対応、明治文化の特色と大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究する。	◆近代産業の発展（通貨と銀行、産業革命、紡績と製糸、鉄道と海運、重工業の形成、農業と農民、労働運動の進展）◆近代文化の発達（明治の文化と宗教、教育の普及、科学の発達、近代文学、明治の芸術、生活様式の近代化）◆市民生活の変容と大衆文化（大衆芸能、都市文化の進展と市民生活、大衆文化の誕生、学問と芸術）	【知識・技能】産業の発達の影響、国家主義的思想、教育の普及・拡充、学問・芸術・出版、マスメディアの発展について諸資料から情報を読み取り、社会風潮との関連を理解している。【思考・判断・表現】労働問題や公害問題の発生、都市の発達、鉄道・駅の設置、工場での増加や生活の変化など、地域社会の変容について多面的、多角的に考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】産業の発展による社会問題への対応、明治文化の特色と大衆社会が生み出す課題について、自ら主体的に追究しようとしている。	○	○	○	13	
定期考査			○	○	○	1		
2 学 期	◆恐慌と第二次世界大戦 【知識・技能】日本で連続した恐慌と、軍部の台頭と対外政策について理解し、戦争の長期化と外交に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解する。【思考・判断・表現】協調外交が次第に緊張が高まり、当時の社会が抱えた矛盾、軍部の政治的進出などの諸事象を関連づけて、全体主義的な国家体制の進展について多面的、多角的に考察し、根拠を示して表現する。【主体的に学習に取り組む態度】当時の新聞、世論の動向を読み取り、軍部の台頭がもたらした太平洋戦争に至る過程について主体的に課題を追う。	◆恐慌の時代（戦後恐慌から金融恐慌へ、社会主義運動の高まりと積極外交への転換、金解禁と世界恐慌、協調外交の挫折）◆軍部の台頭（満洲事変、政党内閣の崩壊と国際連盟からの脱退、恐慌からの脱出、転向の時代、二・二六事件）◆第二次世界大戦（三国防共協定、日中戦争、戦時統制と生活、戦下での文化、第二次世界大戦の勃発、新体制と三国同盟、太平洋戦争の始まり、戦局の展開、国民生活の崩壊、敗戦）	【知識・技能】日本で連続した恐慌と、軍部の台頭と対外政策について理解し、戦争の長期化と外交に関わる諸資料から情報を読み取り、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開について理解している。【思考・判断・表現】協調外交が次第に緊張が高まり、当時の社会が抱えた矛盾、軍部の政治的進出などの諸事象を関連づけて、全体主義的な国家体制の進展について多面的、多角的に考察し、根拠を示して表現している。【主体的に学習に取り組む態度】当時の新聞、世論の動向を読み取り、軍部の台頭がもたらした太平洋戦争に至る過程について主体的に課題を追うようとしている。	○	○	○	13	
	定期考査			○	○	○	1	
	◆占領下の日本 【知識・技能】戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定、占領政策とその転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、日本の主権回復の意義について理解する。【思考・判断・表現】戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづいており、日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、占領の前後の社会や思想・文化など多面的、多角的に考察し、表現する。【主体的に学習に取り組む態度】現代の日本との関係性を踏まえ、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追う。	◆占領と改革（戦後世界秩序の形成、初期の占領政策、民主化政策、政党政治の復活、日本国憲法の制定、生活の混乱と大衆運動の高揚）◆冷戦の開始と講和（冷戦体制の形成と東アジア、占領政策の転換、朝鮮戦争と日本、講和と安保条約、占領期の文化）	【知識・技能】戦後の諸改革の内容と日本国憲法の制定、占領政策とその転換による日本の政治や経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、日本の主権回復の意義について理解している。【思考・判断・表現】戦後の諸改革が連合国の対日占領政策にもとづいており、日本国民の反省に支えられつつ実施されたことについて、占領の前後の社会や思想・文化など多面的、多角的に考察し、表現している。【主体的に学習に取り組む態度】現代の日本との関係性を踏まえ、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのか、主体的に課題を追うようとしている。	○	○	○	13	
定期考査			○	○	○	1		
3 学 期	◆高度成長の時代 【知識・技能】自由民主党の成立、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生について理解し、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活の変化に関わる諸資料から情報を読み取る。【思考・判断・表現】日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について、国連平和維持活動への対応や経済不況に対して国内改革などについて多面的、多角的に考察し、その結果を表現する。【主体的に学習に取り組む態度】55年体制、保守政権の安定化、高度経済成長がもたらした国内的、国際的な変化を踏まえ、追究する。	◆55年体制（冷戦構造の世界、独立回復後の国内再編、55年体制の成立、安保条約の改定、保守政権の安定）◆経済復興から高度経済成長へ（朝鮮特需と経済復興、高度経済成長、大衆消費社会の誕生、高度経済成長のひずみ）	【知識・技能】自由民主党の成立、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生について理解し、戦後の日本経済の成長や高度成長期の国民生活の変化に関わる諸資料から情報を読み取っている。【思考・判断・表現】日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について、国連平和維持活動への対応や経済不況に対して国内改革などについて多面的、多角的に考察し、その結果を表現している。【主体的に学習に取り組む態度】55年体制、保守政権の安定化、高度経済成長がもたらした国内的、国際的な変化を踏まえ、追究しようとしている。		○	○	○	7
	◆激動する世界と日本 【知識・技能】石油危機による世界経済の混乱、日本の経済大国化、冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解する。【思考・判断・表現】日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について、国連平和維持活動への対応や経済不況に対して国内改革などについて多面的、多角的に考察し、その結果を表現する。【主体的に学習に取り組む態度】冷戦終結後の国際社会における日本の役割について、自ら課題を見出し主体的に追究する。	◆経済大国への道（ドル危機と石油危機、高度経済成長の終焉、経済大国の実現、バブル経済と市民生活）◆冷戦の終結と日本社会の変容（冷戦から地城紛争へ、55年体制の崩壊、平成不況下の日本経済、現代の諸課題）	【知識・技能】石油危機による世界経済の混乱、日本の経済大国化、冷戦終結後の国際関係、55年体制が崩壊した政治状況、バブル経済から平成不況へと進んだ経済状況などについて理解している。【思考・判断・表現】日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について、国連平和維持活動への対応や経済不況に対して国内改革などについて多面的、多角的に考察し、その結果を表現している。【主体的に学習に取り組む態度】冷戦終結後の国際社会における日本の役割について、自ら課題を見出し主体的に追究しようとしている。		○	○	○	7
	定期考査				○	○	○	1
							合計	
							70	

高等学校 令和 8 年度（2 学年用） 教科 公民 科目 公共

教 科：公民

科目：公共

单位数： 2 单位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（ 1 2 3 4 組：山下学 ）

(5 6 7 8 組 : 山田茂)

使用教科書：（「高等学校 公共」 帝国書院

教科 公民

の目標：

【知識及び技能】現代日本・世界の課題を知り調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける。

政治・経済・社会問題の意味や課題を理解し、自身の考えを多角的に考察することで現存する課題の解決に向けて構想したりする力、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論する力を養う。

身近な地域の課題や国際的な諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、深い理解を通して涵養される国民・市民としての自覚を持つ。国際社会と日本との関わりについて深く考え、我が国・諸外国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを定める。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を正確に知り、判断に必要な概念や理論を理解したうえで情報を適切にまとめる技能を身につける。諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。	現代社会にある課題の解決に向け、事実に基づき多面的多角的の視点をもって公正に判断できる力を醸成。社会参画に備えて自分の考えを適切に表現する力をつける。	よりよい社会の実現を目指し、社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養う。多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚などを深めたい。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
1 学 期	単元 公共の権と宗教・思想・伝統文化 【知識及び技能】 自らの体験から他者との公共的関わりについて知る。【自分の大切さ、他者の大切さ、多様性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について、幸福、正義、公正の観点から多面的・多角的に考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分とは違う考えを尊重する。違いを差別ととらえることのない多様性を尊重できる人間性、考え方を身につける。	○指導事項 ・私たちの人生と社会 ・青年期特有の課題 ・ギリシャ思想―一神教 ・東洋思想 ・日本の伝統文化 ・義務論と功利主義 ・近代的人間像・国家社会と人間性 ○教材 ・教科書・資料集・プリント・一人1台端末等	【知識・技能】 日本の伝統的考え方、西洋・中国思想を知り解決の手掛かりとなる知識を把握する。 【思考・判断・表現】 青年期の課題を知ったうえで多様な考え方から何が適切か判断し、自分の言葉で表現できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 公共的な空間における基本原理について、よりよい社会の実現を視野に、教師の指示等に従って見方・考え方を深め、現代の諸課題を解決しようとしている。			○	12	
	定期考査			○	○	○	1	
	単元 民主政治の原理と人権の尊重 【知識及び技能】 民主生活の中で幸福・正義・公正の憲法の基本がどう具体的に実現しているかを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 平等や自由が必ずしも実現できていない社会問題を理解したうえで様々な立場を踏まえて判断して考察し主張できる。 【学びに向かう力、人間性等】 憲法と人権に関心をもち、ジェンダー問題、不公正な問題の中で法律をどう適用し解決していくべきか問題意識を持ち続ける姿勢が育っているか。	○指導事項 ・立憲主義の原理と広がり ・日本国憲法的重要性 ・平等権・社会権 ・参政権と国務請求権 ・グローバル化と国際人権 ○教材 ・教科書・資料集・プリント・一人1台端末等	【知識・技能】 日本国憲法の人権規定や新しい人権などの内容と基本的人権、法の支配、立憲主義の概念を理解している。 【思考・判断・表現】 現代の民主政治と政治参加から課題を見出し、法律の役割に気づき、改善点を見つけ出し課題を主張する。 【主体的に学習に取り組む態度】 法律を基盤とし、法律の範囲内で自らの判断基準を考え改善してゆく姿勢が育っているか。		○	○	○	13
定期考査				○	○	○	1	
2 学 期	単元 現代の民主社会 【知識及び技能】 日本の民主政治の歴史的・社会的背景を理解し、基本的な政治知識を深める。主権者として必要な政治への関心をもち意思が育っているか。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治システムと欧米・アジア諸国等を比較し、その特徴を理解し、他国を尊重したうえで日本の政治の改善点を考察、主張する。 【学びに向かう力、人間性等】 立法、行政、司法、地方自治について自己の生活と結び付け、社会における課題を解決するため、政治参加の意欲を強く高めているか。	○指導事項 ・自由民主主義の成立 ・世論の形成と民主社会 ・政治参加と主権者 ・国会と内閣 ・裁判所のしくみ ・地方自治 ○教材 ・教科書・資料集・プリント・一人1台端末等	【知識・技能】 現代の民主政治と政治参加に関する諸資料を様々なメディアから適切に選択し、効果的に活用し理解しているか。 【思考・判断・表現】 現代の民主政治と政治参加から課題を見出し、法律の役割に気づき、改善点を見つけ出し課題を主張する。 【主体的に学習に取り組む態度】 個人と国家の在り方や民主社会に主体的に生きる人間の在り方について考察しようとしている。			○	13	
	定期考査			○	○	○	1	
	単元 国際政治のしくみ 【知識及び技能】 国際法の役割、国際連合のしくみや機能、人権に関する諸条約などについて考察する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会において幸福、正義、公正の観点から諸問題への多様な意見を踏まえて適切に判断する力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 戦後の国際政治の動向に関心をもち、日本の在り方と結び付けて自らすすんで考察し、社会に貢献しようとする意志が育っているか。	○指導事項 ・国際政治の成り立ち ・国連の役割 ・軍縮と安全保障 ・グローバル化と国家 ・現代の紛争 ・移民と難民 ○教材 ・教科書・資料集・プリント・一人1台端末等	【知識・技能】 戦後の国際政治を理解し、現代の国際紛争、資源、兵器などの課題や安全保障問題などについて基本的な知識を理解する。 【思考・判断・表現】 戦後の国際政治の動向を考察し、諸国民の幸福、正義、公正の観点から、国際問題について見解を表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 貧困で苦しまる国、政治的に不安定な国の苦しさ思いを巡らし解決のために何ができるか具体的に考え行動する姿勢があるか。		○	○	○	13
定期考査				○	○	○	1	
3 学 期	単元 市場経済のしくみ 【知識及び技能】 市場経済の機能、金融の働き、財政活動や税関等、政治と経済とのつながりについて認識し健全な経済社会とは何か考察する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 経済面を中心とする諸資料から自立した健全な経済活動に必要な情報を読みとめる力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々の利害が対立する経済・租税対策について、よふ多くの国民の幸福を実現するための経済活動とは何かを深く学び、貢献しようとする意識が育っているか。	○指導事項 ・社会のしくみとしての市場 ・市場の機能と市場の限界 ・金融と貨幣、金融政策 ・財政と予算 ・労働問題 ・少子高齢化と財政 ○教材 ・教科書・資料集・プリント・一人1台端末等	【知識・技能】 市場の基本的仕組みを理解し、自由主義経済における国家の役割を意識したうえで適切に資料を読み取る力を身につける。 【思考・判断・表現】 金融や日銀、財政の持つ役割を理解したうえで日本の経済状況の課題解決のため改善策を自ら思索・表現できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来、社会で自立的に時に備え、家庭経済、租税、金融政策を生活に身近なものとして意識して考えていく姿勢を育てる。			○	7	
	単元 国際経済の状況と課題 【知識及び技能】 経済のグローバル化とともに国家間の相互依存が高まり諸国との円滑な関係の構築の重大性を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の中で日本の置かれた状況を適切に理解し、どうふるまうべきか様々な事実・資料から考察する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 国際経済に関する諸問題に関心を高め、先進国、経済大国として国際経済・社会に貢献していくという意欲を育てる。	○指導事項 ・国際取引引きと国際収支 ・自由貿易とグローバル化 ・国際経済のこれから ・環境問題 ○教材 ・教科書・資料集・プリント・一人1台端末等	【知識・技能】 国際取引引きと国際収支、グローバル化と私たちにについての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から日本経済の現状を正しく理解すること。 【思考・判断・表現】 国際経済に関する諸問題や、グローバル化と日本経済の役割を考える。経済大国から少子高齢化を経て「豊かな経済」をどう実現するか様々な方策を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 新興国、途上国に対し国際社会の中で責任ある国としてどう貢献していくか積極的に関わる姿勢を育てる。		○	○	○	7
	定期考査				○	○	○	1
							合計	
							70	

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教 科： 公民

科 目： 政治・経済

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組 ～ 9 組

教科担当者： (1. 3. 4. 5. 6. 9組： 森川) (2. 7. 8組： 山田)

使用教科書： (「最新政治・経済」 実教出版)

教科 公民

の目標： 基本的知識を身につけた上で自ら学ぶ姿勢・意欲を育てる

【知識及び技能】 現代日本・世界の課題を知り調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】 政治・経済・社会問題の意味や課題を理解し、自身の考えを多角的に考察することで現存する課題の解決に向

【学びに向かう力、人間性等】 身近な地域の課題や国際的な諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、深い理解を通して涵蓋

科目 政治・経済

の目標： 社会生活を円滑に過ごす知識を身につけ良き市民・国民として他社に貢献していく態度を育てる。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の日本・様々な国家の政治体制やグローバル経済を理解すること。様々な課題を認識し必要な概念や理論を理解したうえで情報を適切にまとめる技能を身につける。	現代社会にある政治・経済面の課題解決に向け、事実に基づき多面的多角的視点をもって公正に判断できる力を醸成。 社会参画に備えて自分の考えを適切に表現する力をつける。	よりよい社会の実現を目指し、社会の課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 民主政治の基本的な仕組み 様々な政治体制と社会との関わり 【知識及び技能】 日本の政治体制を理解し、諸外国の大統領制、集団指導体制等を理解し、日本政治の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日本政治の課題を理解し、自らの判断で投票行動のできる主権者としての能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 多様な政治体制の特徴を理解し、様々な状況を理解したうえで多様な社会を許容する態度を養う。	・国家に及ぼす政治の役割 ・民主政治の課題 ・様々な政治体制 ・民主政治実現までの過程を理解する。 ・「議院内閣制」と「大統領制」の比較考察。	【知識・技能】 21世紀の政治体制が直面する課題を大まかに知る。民主主義の考え方、諸外国の政治体制を知り解決の手掛かりとなる知識を把握する。 【思考・判断・表現】 政治分野の基本的知識を学んだうえで主権者としての責任を意識できるか 【主体的に学習に取り組む態度】 新聞やニュースから自らが興味・関心を持てる課題を見つけ出し、深く知る過程を通じて進路意識の深まりが促されているか	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	単元 社会のしくみと憲法の考え方 法律の役割と司法参加 【知識及び技能】 実生活中の幸福・正義・公正の憲法の基本がどう具体的に実現しているかを知る 【思考力、判断力、表現力等】 平等や自由が必ずしも実現できていない社会問題を理解したうえで改善方法を深く考え主張する 【学びに向かう力、人間性等】 ジェンダー問題、不公正な問題の中で法律をどう適用し解決していくべきか問題意識を持ち続ける姿勢が育っているか	・立憲主義の原理と広がり ・憲法的重要性 ・人権概念の変遷理解、広がりゆく人権 ・法律の役割と改善の重要性 ・日常生活にかかわる法律。契約、権利、義務。 ・新しい人権の内容を学び、政治制度、法律面での改善策を探る。	【知識・技能】 憲法の成立過程と重要性を適切に理解しているか。法律の役割とルール的重要性を知ること 【思考・判断・表現】 日常生活の中で深く浸透している常識を裏付けている法律の役割に気づき、改善点を見つけ出し課題を主張する。 【主体的に学習に取り組む態度】 法律を基盤とし、法律の範囲内で自らの判断基準を考え改善してゆく姿勢が育っているか	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2 学 期	単元 民主社会と国民の政治参画 【知識及び技能】 日本の民主政治の歴史的・社会的背景を理解し、基本的な政治知識を深める。主権者として必要な政治への関心を持つ意思が育つてくるか 【思考力、判断力、表現力等】 日本の政治システムと欧米・アジア諸国等を比較し、その特徴を理解し、他国を尊重したうえで日本の政治の改善点を考察、主張する力 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会の中で日本の役割を理解し貢献しようという視点が身についているか	・政治権力の役割と重要性 ・権力の分立の重要性と真の民主主義の理解 ・地方自治の重要性と政治への住民参加の役割。 ・日本の政党政治と政治改革 ・公正な裁判の実現	【知識・技能】 日本の政治システム(議院内閣制)を理解し、他国との比較の中でその役割を理解する 【思考・判断・表現】 他国の政治システムを理解し、その特徴から改善点を考え表現できるか。日本の経済状況を理解し経済大国として国際貢献方法を探る。 【主体的に学習に取り組む態度】 貧困で苦しむ国、政治的に不安定な国の苦しさに思いを巡らし解決のために何ができるか具体的に考え行動する姿勢があるか	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	単元 現代日本の経済と諸課題 【知識及び技能】 市場委経済の機能、金融の働き、財政活動や租税等、政治と経済とのつながりについて認識し健全な経済社会とは何か考察する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 経済面を中心とする諸資料から自立した健全な経済活動に必要な情報を読み取りまとめる力を身につけさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々の利害が対立する経済・租税対策について、より多くの国民の幸福を実現するための経済活動とは何かを深く学び、貢献しようとする意志が育っているか。	・経済の基本 ・市場メカニズムと公的機関との関わり ・企業の社会的役割 ・金融政策と日本銀行、政治との関係 ・財政政策の推移と政策の予測 ・財政政策の課題	【知識・技能】 市場委の基本的仕組みを理解し、自由主義経済における国家の役割を意識したうえで適切に資料を読み取る力を身につける。 【思考・判断・表現】 金融や日銀、財政の持つ役割を理解したうえで日本の経済状況の課題解決のため改善策を自ら思索・表現できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 将来、社会で自立した時に備え、家庭経済、租税、金融政策を生活に身近なものとして意識して考えていく姿勢を育てる。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3 学 期	単元 豊かな社会実現への諸課題 【知識及び技能】 豊かな社会を経済面だけでなく、雇用と労働問題、社会保障、少子高齢化等、日本の社会情勢の変化と関連付けて理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 現代日本の社会を表す諸資料から課題を見つけ出しまとめる力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 経済成長とともに享受した豊かさが社会情勢の変化によりどう変わったか、どう変えていくべきかを考察する姿勢を育てる。	・産業構造と職業の変化 ・中小企業の課題 ・労働と雇用の変化と課題 ・人口減少社会の雇用の変化 ・持続可能な社会維持のための外国人労働、移民政策等、将来への課題を認識する。	【知識・技能】 労働者の基本的権利、労働三権、女性の社会進出等、社会情勢の変化と労働の関係を理解する。また、環境問題、ジェンダー差別、少子化社会等、様々な課題を理解・認識する。 【思考・判断・表現】 社会保障の重要性と財政負担を考えあわせ、将来雇用や財政をどう運営していくべきかを考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 真に豊かな社会を経済面ではなく生活の豊かさや充実感という心の状態を合わせたうえで評価、改善方法を考察してゆく姿勢を身につける。	○	○	○	7
	単元 国際政治・経済の状況と日本の役割 【知識及び技能】 経済のグローバル化とともに国家間の相互依存が深まり他国との円滑な関係の構築の重要性を理解する。その中で日本がどのような役割を担えるか理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 国際社会の中で日本の置かれた状況を適切に理解し、どうあるべきか様々な事実・資料から考察する力。 【学びに向かう力、人間性等】 先進国、経済大国として国際経済・社会に貢献していくこととする意欲を育てる。	・経済大国日本 ・戦後の日本経済と発展要因 ・グローバル化への日本経済の対応策 ・自由主義経済下における格差是正 ・増加する社会保障問題への対応策	【知識・技能】 グローバル化と私たちについての基本的な知識を理解するとともに、諸資料から日本経済の現状を正しく理解すること。 【思考・判断・表現】 グローバル化と日本経済の役割を考える。経済大国から少子高齢化を経て「豊かな経済」をどう実現するか様々な方策を考察する。 【主体的に学習に取り組む態度】 新興国、途上国に対し国際社会の中で責任ある国としてどう貢献していくか積極的に関わる姿勢を育てる。	○	○	○	7
				○	○	○	1
							合計 70